

# 農薬散布するときには 今一度、確認しましょう！

平成18年5月から施行されたポジティブリスト制度は、今まで残留基準がなかった農薬にも基準値が設定され、基準値が設定されない農薬については、一律基準0.01ppmと厳しい値が適用されました。制度施行以降、**防除器具の洗浄不足やラベルの未確認による適用外使用、農薬飛散事例が本県でも発生しております。**

また、21年4月から施行された愛媛県食の安全安心推進条例では、21年10月以降、農産物生産者や販売者が自主的な回収を行った場合は県に報告し、県は公表することとなっています。

さらに、住宅地と農地の混在化が進んでおり、農薬の飛散を原因とする住民や子供等への健康被害を及ぼさないよう十分な配慮が必要となっています。

県産農産物の安全性と産地としての信頼性を確保するため、農薬使用にあたっては、防除器具が十分洗浄されているかを確認するとともに周囲の状況に注意の上、ラベルの記載事項を遵守した適正な農薬使用を徹底しましょう！

この防除は本当に必要かな？



農薬の種類・使用方法は？



SSのパワーは？



ノズルはどれがいいかな？



今一度、農薬の使用について考えてみましょう！

風向きは？  
強さは？



周囲の状況は？



# 散布時の対策は？

農薬使用基準を遵守しましょう。

適用作物、希釈倍率または使用量、使用時期  
総使用回数を遵守！

○×水和剤

作物	倍率	量	方法	回数	備考
アホ	2000倍	300L	散布	3回	...
XO>	1500倍	300L	散布	4回	...
あひ	1500倍	300L	散布	4回	...
トト	1000倍	200L	散布	3回	...
いし	1000倍	200L	散布	2回	...
あや	1000倍	300L	散布	3回	...



使い慣れた農薬でも、ラベルをよく読んで！



(風速の目安)  
木の葉、稲の葉がそよそよと絶えず動く状態。

風の弱いときに風向きに気をつけて散布しましょう。

風下に別の作物があるときは特に注意！



風の強いとき(風速3m以上)は、散布作業を控える。



農薬の種類を検討をしましょう

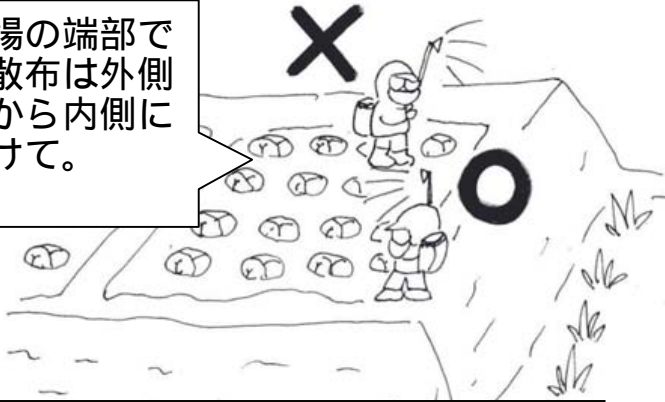
飛散しにくい剤型等の選択  
(粒剤・塗布・灌注等)  
周囲の農作物にも登録のある農薬の選択  
性フェロモン、生物農薬、天然由来農薬等を選択





圃場の隣接部や外周部への散布には細心の注意を払いましょう。

圃場の端部での散布は外側側から内側に向けて。



飛散の少ないノズルを選択しましょう。



適正な散布  
圧・風量

散布は必要  
最小限の量  
と区域で



標準ノズル



低減ノズル



標準ノズル



低減ノズル

隣接して他の農作物が栽培されている場合  
物理的な遮断も検討しましょう。



ソルゴー



ソルゴー + ネット

目合いの細かいネットや  
シートの利用  
障壁作物(ソルゴーなど)の  
植栽

## 農薬使用履歴の記帳徹底

作業日誌に、使用した農薬の散布実績を正確に記録しましょう。



## 防除器具をしっかりと洗浄しましょう

散布終了後は、防除器具（タンク、ホース等）を十分に洗浄しましょう。  
異なる作物に散布した場合は特に注意する。



## 事前に十分連絡しましょう！



周辺の栽培者や住民に伝えるなど、日頃からコミュニケーションをとり、地域での連絡を密にしておきましょう。

近隣に学校・通学路がある場合は、学校や保護者に連絡し、通学時間の散布を控えましょう。